

政策評価・事務事業評価シート

【事業名称】「おおた市民債発行事業」

	H29年度予算額	H28年度決算額	H27年度決算額
事業費	3,068,000 円	3,067,092 円	3,067,092 円

事業評価チェック表

PLAN	<ul style="list-style-type: none"> 事業の概要 市民債の発行 <ul style="list-style-type: none"> ①【対象者】市内に住居登録のある20歳以上の人 ②【募集方法】金融機関窓口での先着順（H26年度～。H14年度～H25年度までは往復ハガキによる募集） ③【償還期限】5年（H19年度～。H14年度～H18年度までは7年） ④【償還方法】満期一括償還 ⑤【利息払い回数】年2回（5月、11月） ⑥【引受金融機関】群馬銀行 ねらい 市民の行政への参加意識の高揚を図るとともに、市民の貴重な資金を財源として公共施設を建設、整備することにより、その施設のみならず、より一層郷土である「太田市」に愛着を持ってもらうため、市民債を発行する。 予算 平成29年度当初予算額 3,068,000 円（引受手数料等の発行に係る経費）
------	--

DO	<ul style="list-style-type: none"> 事業実績（過去3年間の発行額、利率及び発行対象事業） <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度 5億円 0.35% （仮称）太田駅北口駅前文化交流施設整備事業ほか 平成27年度 5億円 0.30% 新市民会館建設事業 平成28年度 5億円 0.10% 新市民会館建設事業ほか 詳細については別紙参照（「おおた市民債」の発行状況、市民債の利率の推移について）
----	--

CHECK	評価項目	評価基準	評価（該当欄に○）	評価コメント
	必要性 （市民ニーズ）	きわめて必要性が高い		
必要性が高い				
どちらかと言えば必要性がある				
必要性が低い			○	
必要性がない				
公共性 （民間委託・移譲できないか）	民間委託・移譲できない		○	一般的な公共性の有無については議論の余地があるが、事業の性質上、「民間委託、民間移譲」することは考えにくい。ため、「民間委託・移譲できない」とした。
	民間委託・移譲することは難しい			
	民間委託・移譲することも検討			
	一部民間委託・移譲すべき			
	全て民間委託・移譲すべき			
費用対効果 （コストに見合った成果があるか）	きわめて効果的である			金融機関から借り入れた場合、事業費が掛からないため、経済的な観点からは効果的でないという考えもある一方で、十数年にわたって完売が続いていたことや、例えば「市民会館は私たちが建てた」という購入者からの声もあり、公共施設の建設や整備に対する市民の参加意識、郷土に対する愛着を喚起するという事業のねらいに関しては、効果があったと言える。
	効果的である			
	どちらかと言えば効果的		○	
	どちらかと言えば非効果的			
	非効果的である			
優先性 （他事業に優先し実施する必要があるか）	きわめて優先性が高い			評価対象者（購入者）が少ないことをもって優先性が低いとは判断できない事業もあり、また購入者にとっては投資した公共施設が形になるという部分では「夢を買っている」側面もあるが、美術館・図書館や市民会館といった主要な公共施設の建設、整備もひと段落し、今後、新たな発行対象事業が明確になっていないこともあり、現時点では優先性が高いとは言い難い。
	優先性が高い			
	どちらかと言えば優先性がある			
	優先性が低い		○	
	優先性がない			
成果 （目標の達成状況）	きわめて成果があがっている			「費用対効果」と同様、発行額（5億円）に対する購入総額（約3億6千万円）のみを見れば平成28年度は目標を達成しているとは言えないが、前年までの実績（完売）や、本市の顔として重要な役割を担う主要な公共施設の建設、整備等、発行対象事業に対する市民の参加意識の醸成という意味においては、購入者の意見からも一定の成果が見られると判断する。
	成果があがっている			
	どちらかと言えばあがっている		○	
	どちらかと言えばあがっていない			
	成果はあがっていない			
総合評価	きわめて良好である			低金利を反映した近年の経済情勢の下での実績のみでは判断できない過去の経過もあり、また市民意識の高揚を図り、身近で親しみのある建物の整備等を発行対象事業としたことで購入者に郷土に愛着をもってもらうという部分では大いに評価できるが、設定利率の低さ、少人数に留まる購入者、募集方法の問題点等、マイナス要素、改善が必要な部分も多くある。
	良好である			
	おおむね良好である		○	
	問題がある			
	不適正である			

ACTION	改善 （今後の方向性）	評価基準	評価（該当欄に○）	議会評価（今後の事業展開）	
		拡充する			平成28年度の実績からは、利率の部分で魅力が薄れてきていることが読み取れる。群馬県が2年連続で県民債の発行を見送っている現状もあり、「所期の目的は達成しており、廃止も止むを得ない」との意見もあった。経済状況等が好転したら再開することを念頭に、この際、一度発行を休止し、その上で、継続する場合には、魅力ある利率の設定以外にも、金融機関での先着順方式とした募集方法の見直し（窓口での混乱、業務の煩雑さ等報告あり）、購入限度額等の見直し、発行対象事業に対し、市民の資金を財源として充当している旨の表示（公共施設に直接掲示する等）など、改善が必要ではないかと考える。
		現状のまま継続する			
		改善・効率化し継続する		○	
		見直しのうえ縮小する			
		廃止する			